

第15回KOLC大会 コース解説



作成 高橋悠（コースセッター）

もくじ

- 総評
- M21A1 6→7
- M21A1 10→11
- M21A2 4→5
- M21A2 7→8
- W21A/M35A 1→2
- W21A/M35A 8→9
- M21AS/W35A/M50A 8→9
- W21AS/W50A/M60A 4→5

総評

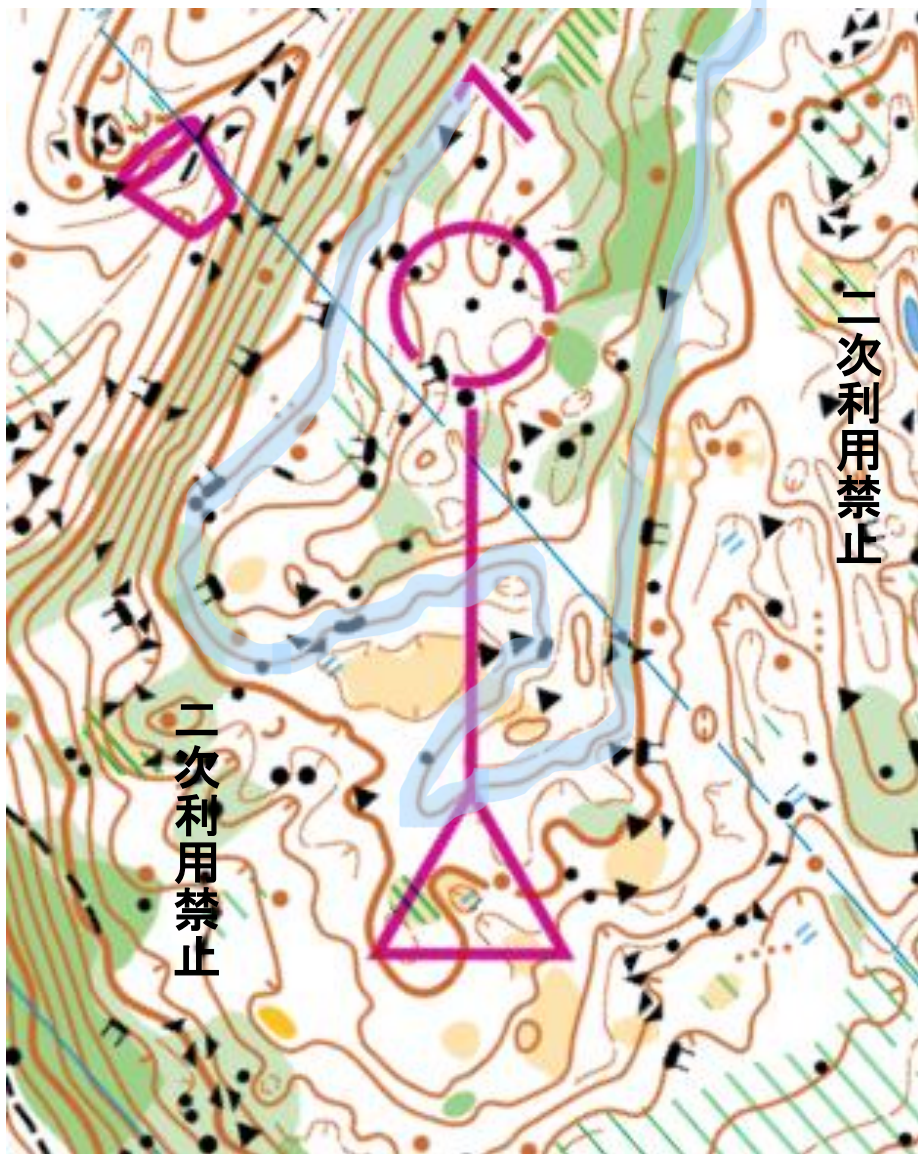
①藪・地形・岩など地図に書かれたあらゆる情報から必要な情報を抽出したうえで、それらの情報を高い頻度・精度で現地と一致させること

②視界を遮る植物や倒木、細かな起伏や岩などの障害物が多いなかでも方向を維持し続けること

以上の2点の能力が主に問われるテレインであった。

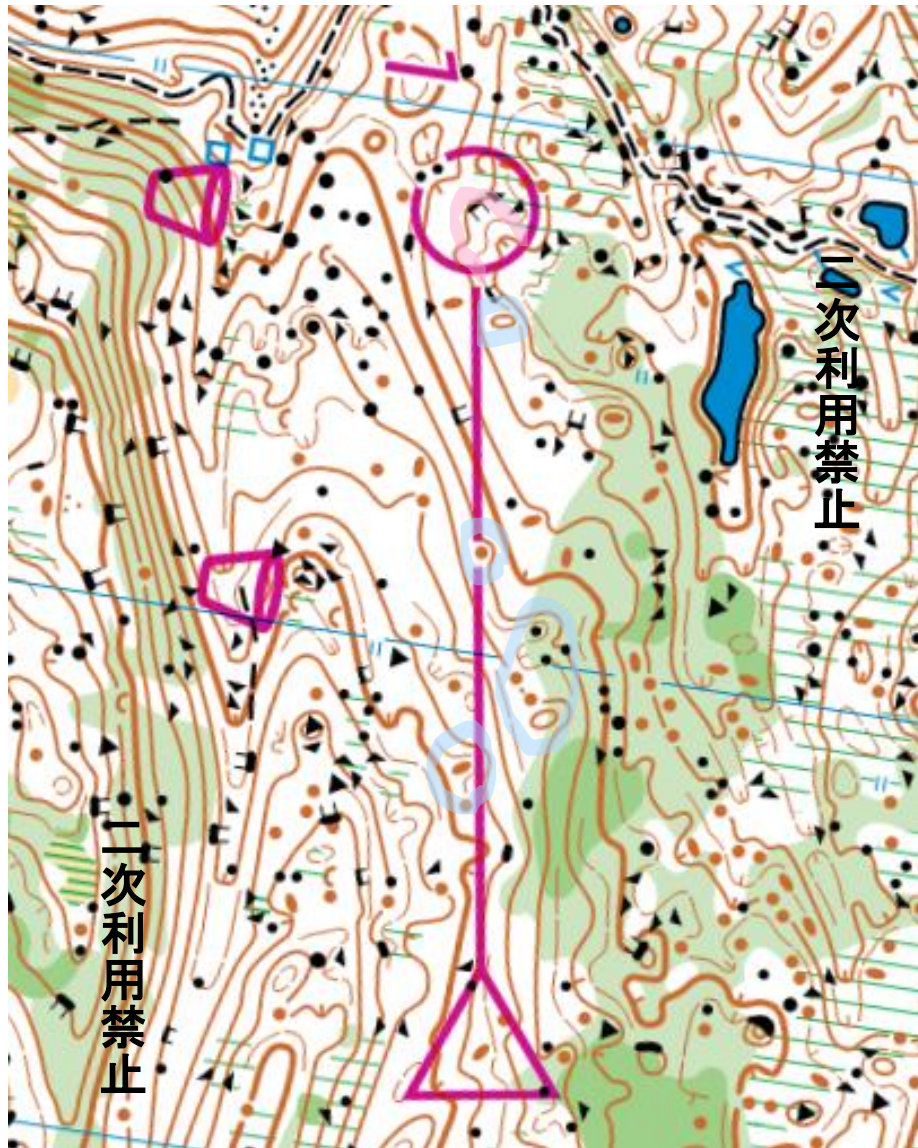
その上で、ルート上の様々な種類の特徴物でリロケートやアタックが有効となるレッグ線・ポスト位置の設定や走行可能度の高いエリアの使用によって、テレインの特性を活かしつつ競技者の技術・体力を試すコース設定を心掛けた。

M21A1 6→7(71→73)



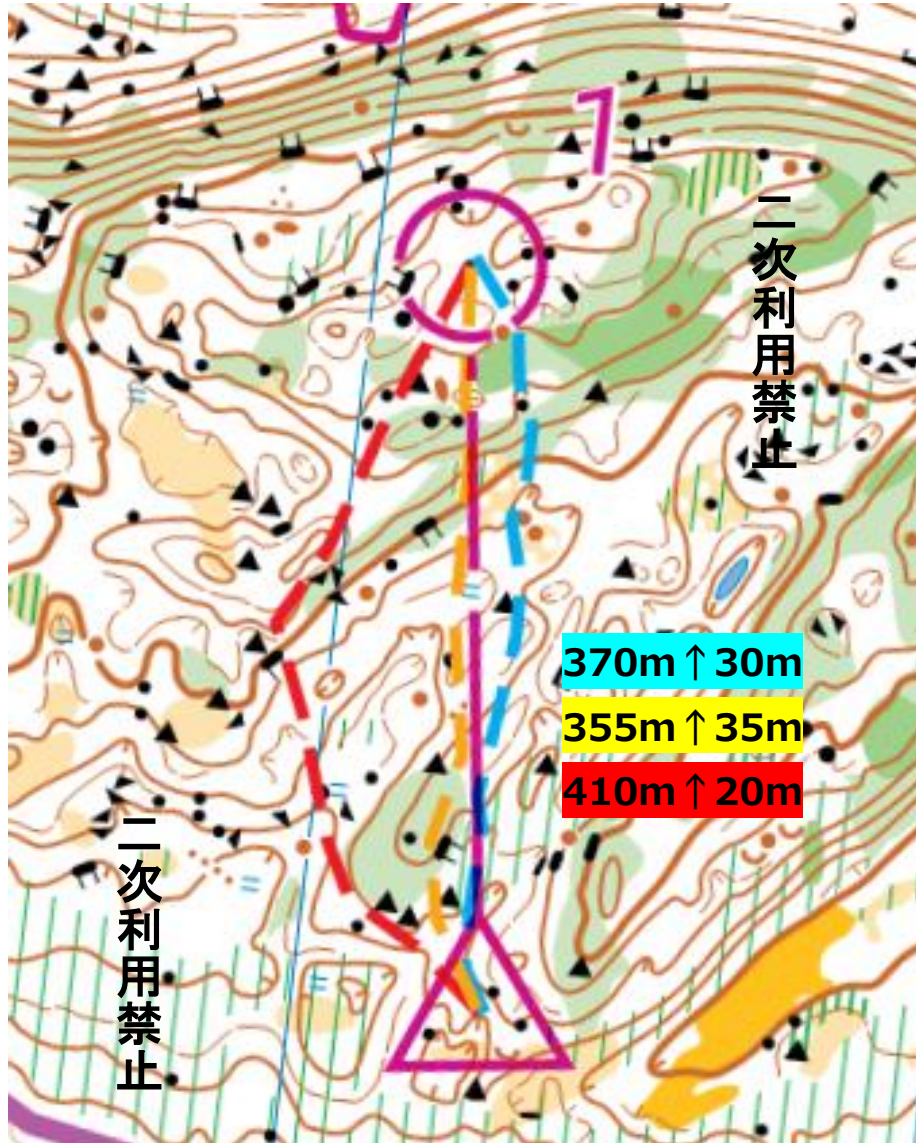
尾根と沢が複雑に入り組むエリアとなっている。計曲線の一本上のコンタを意識すると地形が把握しやすい。尾根上は細かい起伏によって視界が悪くなっており、方向維持・現在地把握の難易度が高まる。正しくアタックできた選手は自信を持っていただきたい。

M21A1 10→11(93→105)



M21A1の勝負レグ。比較的視界の広い片斜面を長い距離進むため、序・中盤エリアとは異なるハイスピード下での直進技術が試される。**こぶやピーク**で左右のずれを修正しつつ、**沢**を探しに行きたい。

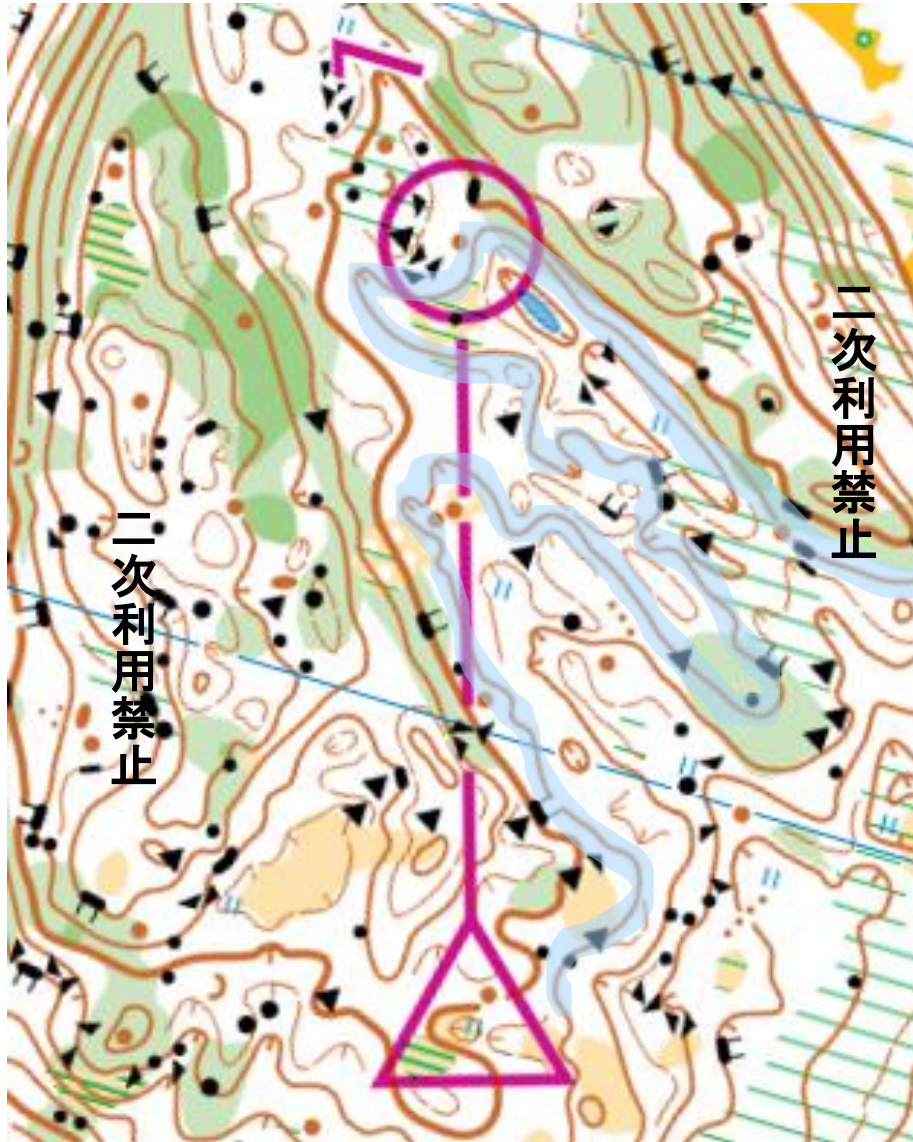
M21A2 4→5(70→73)



レッグ線付近の黄・青ルート、序盤の起伏を避けた左巻きの赤ルートが想定される。

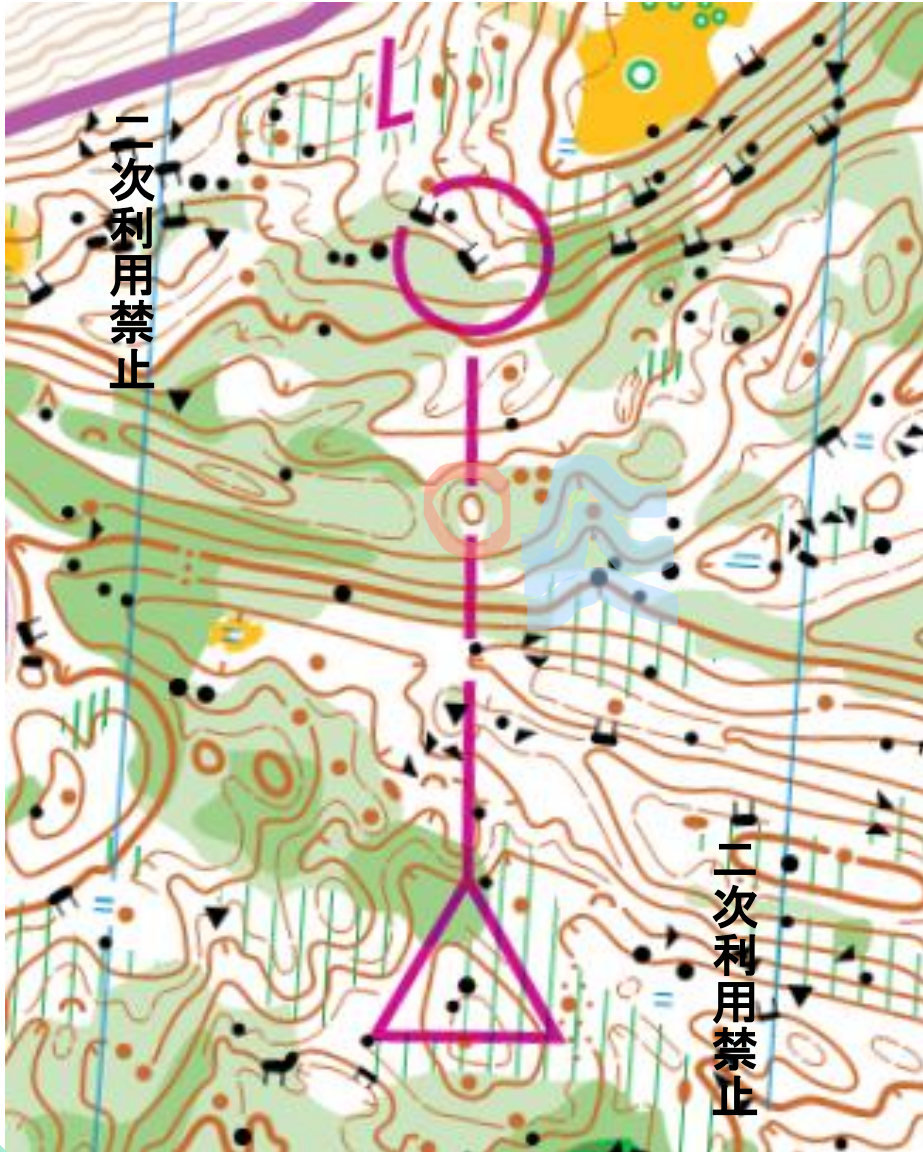
赤ルートは登距離を抑えられている一方で距離がかさむため、方向転換のタイミングや方向維持に注意が必要になる。

M21A2 7→8(71→90)



線状に延びる尾根、沢を斜めに横切るレッグ。尾根・沢を正しく認識したうえで、湿地やラフオープンなどの特徴物をCPとして設定することが出来れば、スムーズにコントロールに到達出来るだろう。

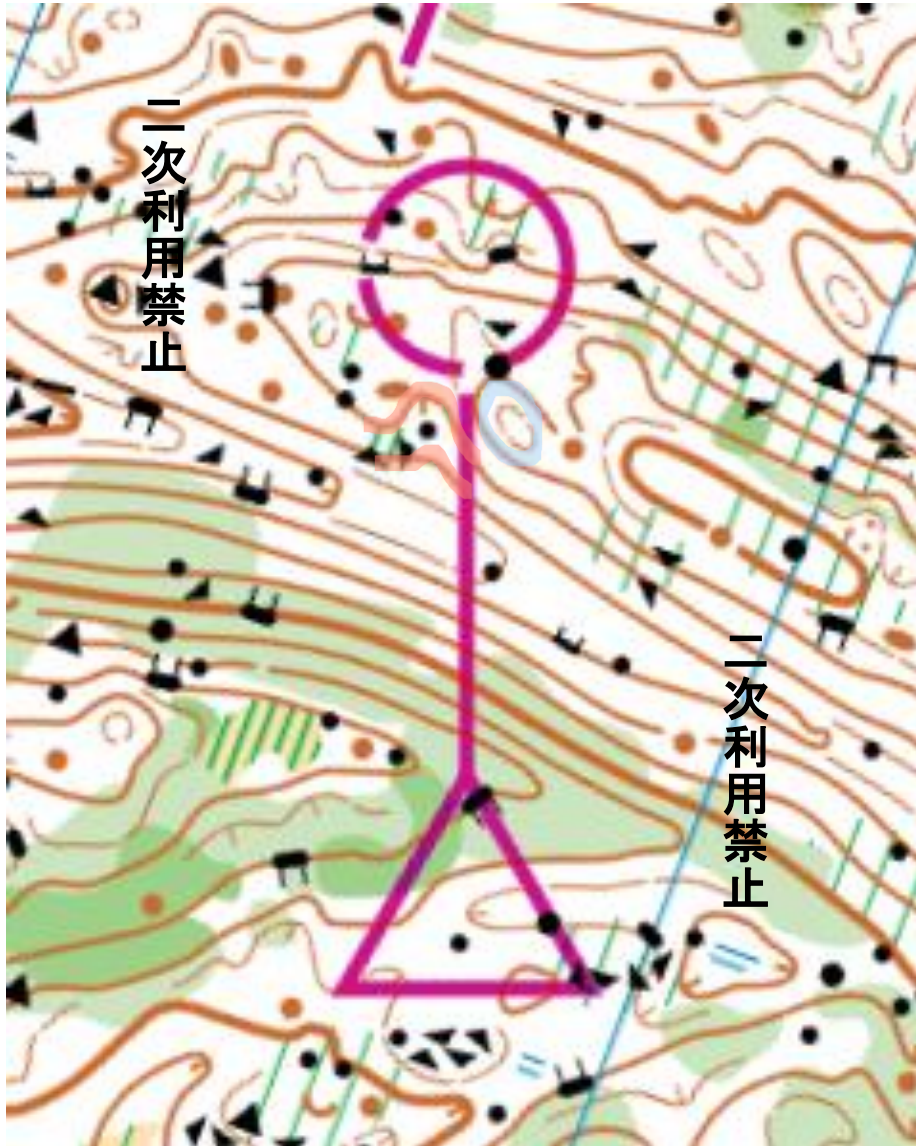
W21A/M35A 1→2(48→69)



序盤は地形が複雑に入り組むエリアを進むので尾根沢の逆転に注意。

尾根を登り切った後にピークや沢でリロケートしたうえで慎重にアタックできるかがポイント。

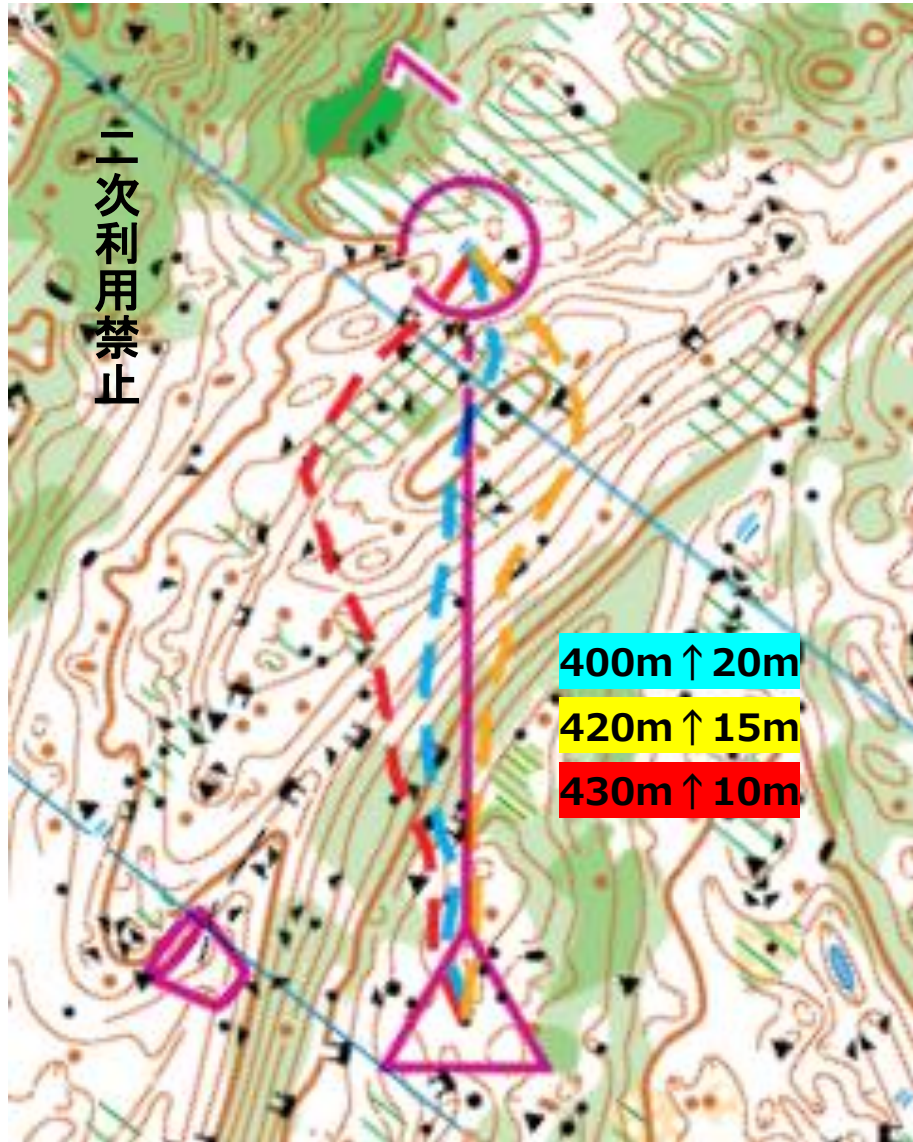
W21A/M35A 8→9(91→94)



エリア移動のつなぎ
レグとなっているが、
斜面を降りる際の方
向維持の難易度が高
いため、下りきった
後に沢やピークを
用いてリロケートで
きるかがポイントと
なっている。

M21AS/W35A/M50A

8→9(73→92)



勝負レグ。ハッチを避け、スピードを維持できそうな赤ルートが見えがちだが、見た目以上に登距離の少ない青ルートも選択肢に入る。藪の中を沢底まで下る必要がある為、方向維持に注意。

W21AS/W50A/M60A

4→5(70→71)



同じ高さを保ったまま進むと左にずれるので注意。**レック線左側の沢**や**ラフオープン**を確認して**手前の沢**へのアタックミスを防ぎたい。



コース解説 おわり

I'll be back...



また来るん